

1 単元名 「くらしを守るために学んだことを紹介しよう」(教材:「新聞を作ろう」光村図書 4年)

2 単元の目標

○新聞の特徴を知り、進んで新聞を作ろうとしている。【関心・意欲・態度】

○新聞を書くために必要なことを調べ、伝えたいことが明確になるように文章を書くことができる。

【書く能力】

○文章を読み返して、必要に応じて修正することができる。【書く能力】

○句読点を適切に打ったり、必要な箇所で行をしたり、文末を統一したりしているかなどを確かめている。【言語についての知識・理解・技能】

3 単元設定の理由

本単元は、小学校指導要領国語の内容 B 書くこと(1) イ「文章全体における段落の役割を理解し、自分の考えが明確になるように、段落相互の関係などに注意して文章を構成すること」をねらいとしている。本単元では新聞の内容決定→取材→記事の下書き、割り付け→仕上げ→発表の流れで学習計画が組まれている。内容決定については話し合いで新聞のテーマを決めることになっているが、何でもいいにすると、新聞の読み比べが行いにくくなるので、これまで社会科で学習したことに範囲を絞って選択できるようにする。記事の下書き、割り付けの段階で「写真や図などを入れるかどうか、入れるならどんなものかいいかを考える。」とポイントが教科書に示されている。図書館で資料(図・写真・表・グラフなど)を収集し、新聞に入れることで伝えたいことを視覚的に表現し、その資料に合わせた説明を加えることで相手により伝わりやすい新聞を作ることが期待できる。今回は、3年生に社会科で学習したことを伝達する目的で新聞作りをすることで、相手意識をもち、書き上げた記事、掲載する資料について再構成しながら、より質の高い新聞を目指すことができると考える。また、取材については、既習内容を伝達する目的で新聞作りをするため取材はせず、本からの情報収集に絞り、記事の再構成に時間をかけたい。

本単元では「くらしを守るために学んだことを紹介しよう」という目標を設定し、見通しをもたせて授業を展開する。

第1次では、児童が昨年度、総合的な学習の時間に新聞作りを経験したことを思い出し、新聞に書いた内容を振り返る。今回の新聞作りでの学びを意識させるため、NHK for schoolの『しまった!~情報活用スキルアップ~』にある「新聞を作る」を視聴し、「割り付けの大きさや順序」や「見出しの付け方」などを確認する。動機付けとして、社会科で学習した内容を、来年度学習する3年生に向けて紹介する場面を設定する。社会科で学んだ「火事からくらしをまもる」「事故事件からくらしをまもる」の内容でどちらの新聞にするか選び、3~4人のグループを作る。

掲載する記事については、グループで「マンダラ」の思考ツールを使い、8つのアイデアを出す。その中から1人1つのアイデアを選び、選んだ内容について調べ学習を進める。新聞の大きさは本単元での学びが今後活かされるように「新聞コンクール」の大きさにする。また、学校司書に調べ学習に必要な書籍を集めてもらい、並行読書を行う。

第2次では、書籍や社会科の教科書、各自のノートから情報を収集する。集めた情報は「情報カード」に記入する。「情報カード」の使い方については学校司書から伝えてもらい振り返った上で記入する。

下書きした記事はグループで伝えたいことが分かりやすく書かれているか読み合い、アドバイスをを行う。また、記事の先頭には短い要約が必要になるため、要約の仕方を学習し、グループでそれぞれの記事の要約文を考える。

本時では新聞に載せる資料(図・写真・表・グラフなど)を考える。各自が書いた記事は参考にした資料があるはずである。しかし、資料にはその写真や図などでしか伝えられないことがあり、記事の内容にあった資料を再検討する活動が必要である。そこで、記事にあう資料選びをグループで行う。複数

の資料を選んでいる児童は最も記事に合う資料を、一つの資料しか選んでいない児童については、複数の資料から最適な資料を選ぶよう、助言する。ただし、検討の結果、最初に自分で選んだ資料を使うこともよい。ここでは、この活動を通して資料の最終決定に至った理由を各自がもつことを評価したい。資料を選んだ理由を説明しやすいように実物投影機を使う。割り付けは、「しまった！」で確認したポイントを踏まえ、記事の大きさや順序、見出しを決定する。割り付けた記事は清書に活かせるようにまなボードに挟んで保存する。

第3次では、作成した新聞を3年ホールに掲示し自分たちが伝えたかったことが伝わったか評価できるように、3年生に付箋に感想を書いてもらい、新聞に貼り付ける。

本単元の学習を通して、新聞の記事を友だちと再検討したり、記事に合わせた資料選びを共に考えたりすることで、伝えたいことが明確に伝わる喜びを経験し、自分の考えを文章で書く楽しさを感じてほしい。

【本単元で身に付けさせたい情報活用能力】

3年生に作成した新聞を読んでもらうにあたって、調べたことをそのまま記事にしては伝えたいことが伝わらないはずである。そこで、情報カードに集めた情報を選び、必要なものだけに絞っていく力を身に付けさせたい。(整理・選択)

4 単元の評価規準

関心・意欲・態度	書く	言語に関する知識・理解・技能
①新聞の特徴を知り、進んで新聞を作ろうとしている。 ②新聞を書くために必要な資料を進んで調べようとしている。	①新聞を書くために必要なことを調べ、伝えたいことが明確になるように文章を書いている。 ②文章を読み返して、必要に応じて修正している。	①句読点を適切に打ったり、必要な箇所で行をしたり、文末を統一したりしているかなどを確かめている。

5 単元の指導計画および評価計画 (全11時間 本時 6/11)

次	時	主な学習活動	支援 ○担任 ☆学校司書	評価			
				関心	書く	言語	評価規準 (評価方法)
一	1	○社会科での学習を振り返り、新聞を作ることで3年生に学びを発信することに興味をもつ。 ○新聞作成のための見通しをもつ。	○学習の見通しがもてるようにNHK for school「しまった!~情報活用スキルアップ~」を利用する。	①			・くらしを守ることを伝える新聞をつくることに対して、自分の意見を発表したり、課題を考えたりしている。(発言・ノート)
	2	○新聞の特徴を知り、調べる内容を考える。 ○自分が担当する記事を決定する。	○新聞の内容が決定できるように思考ツール「マンドラ」を使い、調べる内容を絞りやすくする。	①			・付箋に自分の考えを書き、グループで話し合いながら新聞の内容を決めようとしている。(発言・付箋への書き込み)
二	3 ・ 4	○図書館で新聞に必要な情報を収集する。	○記事に載せたい資料が探しだしやすいように付箋をつけるように促す。 ☆収集した情報が混在しないように情報カードの使い方を確認する。	②	①		・自分の担当する記事の適切な情報を選んでいる。(情報カード)

並行読書
↓

			☆児童が資料を見つけやすくなるように書籍コーナーを設置し、書籍の紹介をする。				
	5	○調べた情報を元にして、記事の下書きをする。	○伝えたいことが明確になるように情報の順番を考える。		①		・調べた情報を元にして下書きを書いている。(ノート)
	6 本時 ・ 7	○複数の資料から選択したり、記事に合う資料についてアドバイスしたりする。	○記事を元に資料決定がしやすい様に、記事と資料が1つになったシートを用意する。 ☆資料によって伝わる内容が変わることがわかるように、同じ場面の違う写真を提示する。	②			・友だちの意見を取り入れて資料を選び直したり、友だちの記事に合う資料をアドバイスしたりしている。 (発言・資料選択)
	8	○割り付けを考える。	○割り付けのポイントを思い出せるように「しまった！」の内容を振り返る。		②		・順序、大きさを考えて割り付けをしている。 (まなボード)
	9 ・ 10	○新聞を仕上げる。	○清書するときに前回の学習が活かせるように、まなボードに記入してあることを残しておく。		①	①	・伝えたいことが明確になるように文章を書いている。(新聞)
三	11	○3年生に新聞を読んでもらい、学習を振り返る。	○伝えたいことが伝わったか分かるように付箋を用意し、新聞に直接感想を貼れるようにする。	①			・新聞づくりの学びを自己評価している。 (ノート)

6 本時の学習

(1) ねらい

記事に合う資料を複数の資料から選択したり、アドバイスしたりする。

(2) 展開

時	学習活動と予想される児童の反応	支援 (○担任 ☆学校司書)	評価
5	1.学習したことを想起する。 ・見本の新聞を元に、新聞の構成を確認する。	○1つの記事について1つの資料を選ぶことを提示する。 ○見本の新聞は教科書にあるものを利用する。	
10	2.本時の課題を確認する。 ・2つの写真を比べ、どちらの資料をつかった方がよいか考える。 ・同じ消防車の写真だけどどっちがいいのかな。 ・記事にはしご車のことが書いてあるよ。 ・ポンプ車よりもはしご車のことを伝えたい記事だからはしご車の写真がいいと思うよ。	☆記事に合うのはどちらか考えられるように、種類の異なる消防車の写真を2枚用意する。 ○記事を元に資料決定がしやすい様に、記事と資料が1つになったシートを用意する。 ○記事の内容に合う写真を選べるように1番伝えたいことをはっきりさせる。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">記事にぴったりの写真や絵を選ぼう。</div>			
20	3.選んでいた資料について話し合う。 ・飲酒運転の記事には、取り締まっている写真より、事故現場の写真の方が危険さが伝わると思うよ。 ・訓練は消防士も消防団もしているから、別の写真がいいんじゃないかな。	☆資料選びに困っている児童が決定できるように、資料の使い方を紹介する。 ○資料を決定できるように子どもの記事を読みながら助言する。	・友だちが選んだ資料についてアドバイスしたり、複数の資料から資料を再選択したりしようとしている。 (発言・決定した資料)
10	4.適切な資料を選んだ理由を紹介し合う。	○資料決定をした上で参考になった友だちの意見も発表するように促す。 ○決定した資料が見えやすいように、実物投影機を準備する。	

(3) 視点

児童に資料の再検討をさせるために、2枚の写真を提示して文章との組み合わせを話し合わせたことはねらいを達成するために有効であったか。

(4) 評価

	十分に満足できると判断される児童の具体例	おおむね満足できると判断される児童の具体例	支援が必要と判断される児童への支援方法
関心 意欲 態度	・選んだ資料について根拠をもち、友だちの記事に合う資料をアドバイスしている。	・記事に合う資料を選んだ根拠をもっている。	・資料選択の活動に入れない。 ↓ ・記事の内容がわかるように一緒に読んだり、記事のキーワードを一緒に探したりする。